説明書 No.SHD-FⅡOP 1409

Suiden

熱風機Ｆ／ＦⅡシリーズ用

オプション機器

リモコンＢＯＸ－Ⅱ
リモコンコード－Ｆ
外部温度センサー

取扱説明書

本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。必要なときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。

もくじ

1	安全のために必ずお守りください	1
2	リモコンＢＯＸ－Ⅱ	3
	１．各部の名称	3
	２．各部の寸法	4
3	リモコンコード－Ｆ	4
	１．各部の名称	4
	２．各部の寸法	4
4	外部温度センサー	5
	１．各部の名称	5
	２．各部の寸法	5
5	接続	6
	１．必要なオプション機器	6
	２．接続のしかた	6
	(1)リモコンBOX-Ⅱに各ケーブルを接続する	6
	(2)リモコンコード-FをリモコンBOX-Ⅱに接続する	8
	(3)中継基板を熱風機に取付ける	8
	(4)リモコンコード－Ｆを熱風機に接続する	9
	(5)外部温度センサーを乾燥BOXなどに組付ける	9
	(6)リモコンBOX-Ⅱの電源ケーブルを電源に接続する	9
	(7)リモコンBOX-Ⅱにアラーム出力機器を接続する	9
6	操作	10
	(1)熱風機の起動	10
	(2)リモコンＢＯＸ－Ⅱを操作します	10
	(3)温度調節と風量調節	10
	(4)各部の機能	11
	(5)リモコンＢＯＸ－Ⅱの操作	13
	(6)オートチューニングの操作	13
	(7)タイマー運転の操作	15
	(8)タイマー運転解除の操作	19
7	こんなときは（故障かな？と思ったら）	20
8	安全のための点検のお願い	20
9	アフターサービスと保証について	21
＊	アフターサービスのお申し込みについて	23

世界のブランド〈Suidenスイデン〉製品をお買上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。
ご使用中に、わからないことや不具合が生じたときは、本説明書を必ずお読みください。

株式会社スイデン

1 安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この『安全のために必ずお守りください』をよく読み内容を理解してから正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、⚠危険・⚠警告・⚠注意の3つに区分しています。
しかし、⚠注意の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

⚠危険：取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることがあります。

⚠警告：取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意：取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。

注記：警告・注意以外の情報を示します。

絵表示の例		△記号は、危険を告げるもの、または警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な危険事項や、注意事項を描いたものもあります。（左図は感電危険）
		⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止事項を描いたものもあります。（左図は分解禁止）
		●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な注意事項を描いたものもあります。（左図はアースする）

●配線の際の注意事項

⚠ 危 険

活線状態で作業しない。
＊感電の恐れがあります。必ず電源を遮断してから作業してください。

⚠ 注 意

配線工事は、専門業者もしくは有資格者が電気設備基準や、内線規定に従って安全確実に行う。
＊素人工事は、事故やトラブルの原因になります。接続不良や誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。

機器の取付けは、熱風機が冷えているときに行う。
＊運転停止直後に作業すると、やけどをする恐れがあります。

●設置の際の注意事項

⚠ 警 告

灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などや、その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものの近くに設置しない。
＊爆発したり、火災の原因になります。

アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・化学物質などの爆発性粉じん、ガス・蒸気などの近くや雰囲気内に設置しない。
＊爆発したり、火災の原因になります。

⚠ 注　意	
振動のある場所に設置しない。 ＊共振を起こして基板が破損するなど、事故の原因になります。	充分な強度のある場所に設置する。 ＊本機の転倒・落下によるケガ・事故の原因になります。
屋外や雨水のかかる場所に設置しない。 ＊絶縁劣化による漏電・感電・火災・故障の原因になります。	導電性浮遊物（カーボン繊維・アルミ・鉄・鋳物粉など）のある場所に設置しない。 ＊漏電によるケガや、事故の恐れがあります。
湿度の高い場所に設置しない。 ＊感電・火災・故障の原因になります。 雰囲気湿度80%以下の場所に設置してください。	温度の高い(40℃を超える)場所に設置しない。 ＊火災の原因になります。 雰囲気温度0℃～40℃の場所に設置してください。
火気に近づけない。 ＊電装部品が変形し、ショートして発火の原因になります。	

●試運転・運転の際の注意事項■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

⚠ 警　告	
熱風循環運転を行うときは、炉内に人がいないか、必ず確認する。 ＊死亡する恐れがあります。	運転中は、熱風吐出口に顔を近づけない。 ＊やけどや、失明などの恐れがあります。
運転中は、吸込み口に指などを入れない。 ＊回転中のハネで指を切断される恐れがあります。	運転中は、安全カバーやパネルなどを外さない。 ＊感電や、やけどをすることがあります。
運転中および運転停止直後は、熱風吐出口付近やブロアー吐出口付近にはさわらない。 ＊やけどをすることがあります。	運転中および運転停止直後は、熱風吐出口付近やブロアー吐出口付近に燃えやすいものを近づけない。 ＊火災の恐れがあります。 ＊吐出し温度が低くても、低温発火にいたる場合があります。
ブロアーの吸込み空気にトルエン・シンナーなど引火性の気体や、多量の水蒸気が含まれる場所で使用しない。 ＊火災・漏電の恐れがあります。	濡れた手で、電源プラグやスイッチ・配線などの電気まわりに触らない。 ＊感電やケガをすることがあります。
水や油をかけない。 ＊感電・火災の原因になります。	吸込み口に器物を当てたり差込まない。 ＊内部部品の変形や破損を原因とした事故になります。

⚠ 注　意	
動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店に必ず点検修理を依頼する。 ＊感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。	電源ケーブルやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。 ＊感電やショートして発火することがあります。
熱風循環運転中は、ダンパー調節をしない。 ＊やけどをする恐れがあります。	運転中は、ダクト類に触らない。 ＊やけどをする恐れがあります。
ダンパーの中央の穴を塞いで使用しない。 ＊ヒーターが異常過熱し、非常に危険です。	吸込み口をダンパー以外のもので塞がない。 ＊ヒーターが異常過熱し、非常に危険です。

⚠ 注　意	
電源ケーブルや延長ケーブルは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。 ＊ケーブルが発熱して火災の危険があります。必ず伸ばした状態で使用してください。	電源ケーブルやリモコンコード、温度センサーのリード線を傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねない。 ＊ケーブルなどが破損し、火災や感電の原因になります。
電源ケーブルやリモコンコード、温度センサーのリード線に重い物をのせたり、挟み込まない。 ＊ケーブルなどが破損し、火災や感電の原因になります。	電源プラグにピンやゴミを付着させない。 ＊感電やショートして発火することがあります。
使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 ＊ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。	電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。 ＊感電やショートして発火することがあります。

●保守・点検の際の注意事項

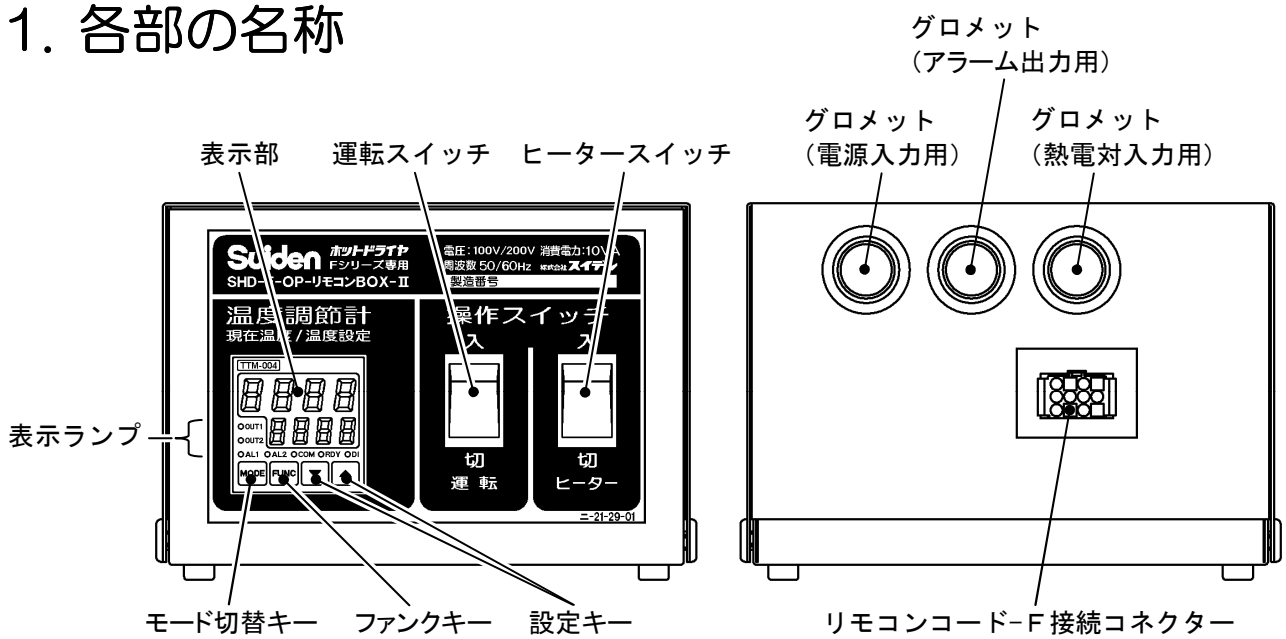
⚠ 危　険
保守点検の際は、電源ブレーカーを必ず遮断する。 また、不注意などで、スイッチを入れないように、スイッチに「投入禁止」の札をつける。 ＊感電や事故の危険性があります。

2 リモコンBOX-Ⅱ （適用機種：熱風機SHD - F／FⅡシリーズ）

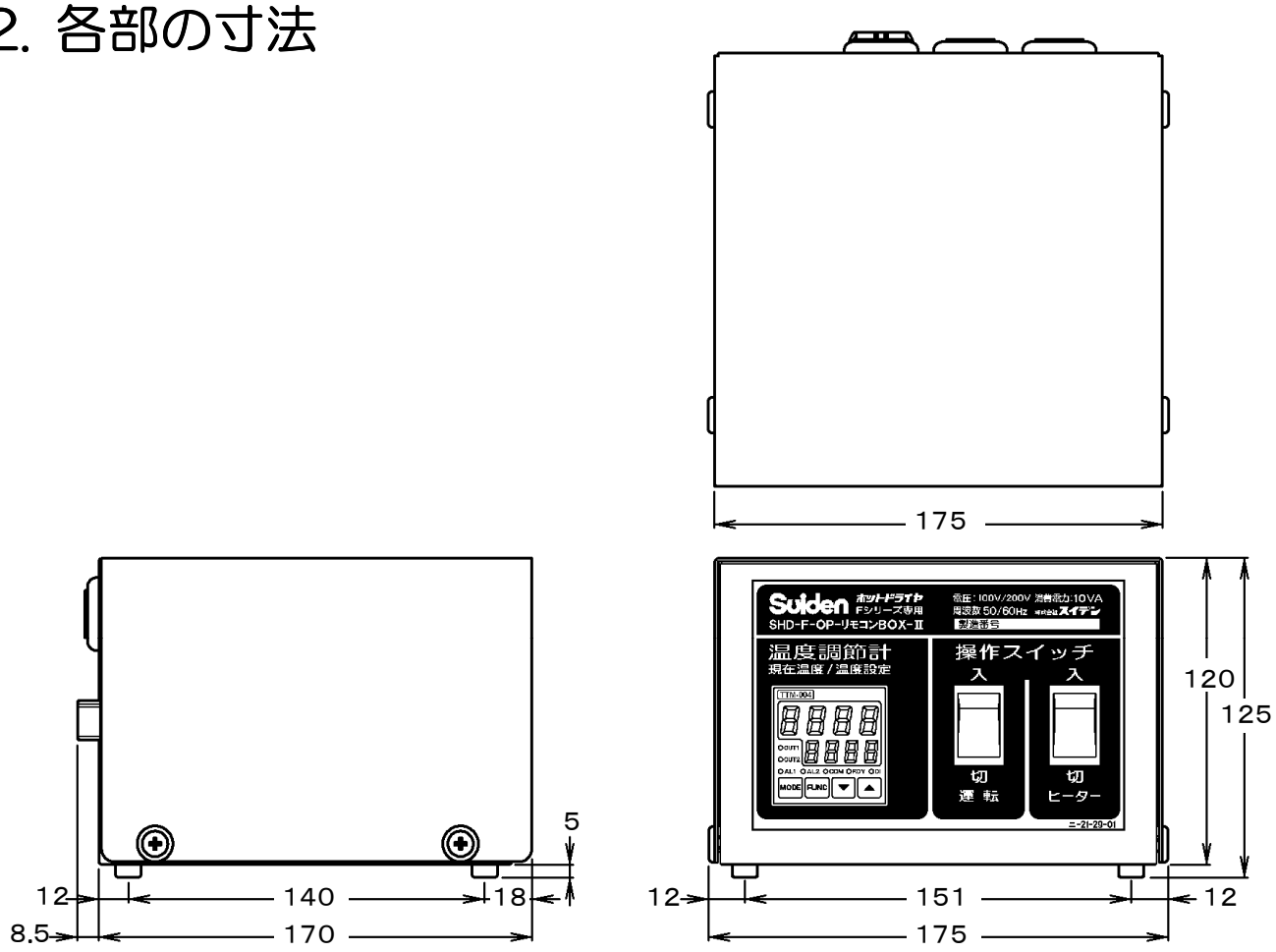
【リモコンBOX-Ⅱ】と【リモコンコード-F】と【外部温度センサー】を組合せると、熱風機の運転・停止の遠隔操作および乾燥BOXや、炉内部の温度制御ができます。

※オプション機器は、単体ではご使用いただけません。
※上記オプション機器以外に電源ケーブル（1.25sq　3芯）が必要です。
　リモコンBOX-Ⅱの取付け位置から電源までの距離に見合った長さの電源ケーブルをご用意ください。

1. 各部の名称

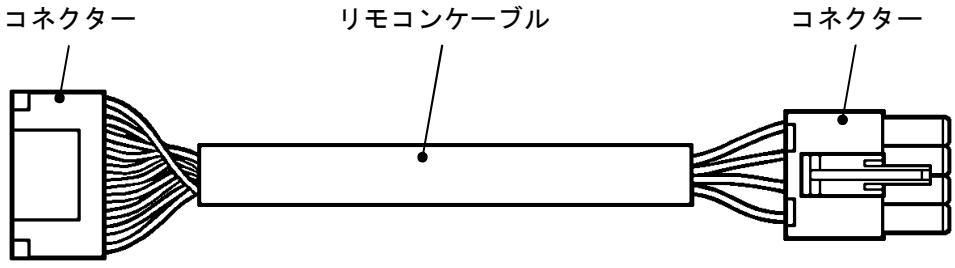


2. 各部の寸法



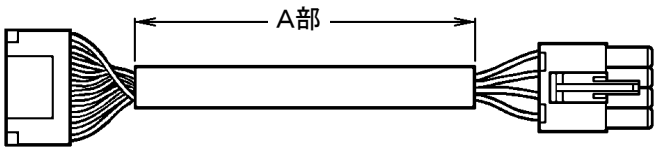
3 リモコンコード-F

1. 各部の名称



2. 各部の寸法

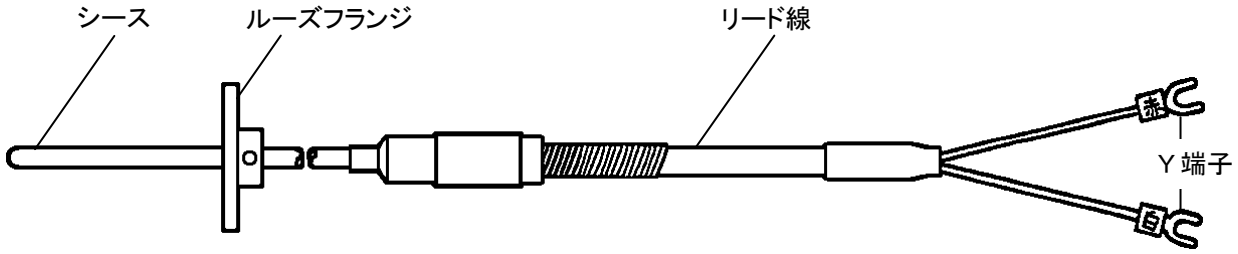
品　　番	A部長さ
リモコンコード-F　5m	5m
リモコンコード-F　10m	10m
リモコンコード-F　15m	15m
リモコンコード-F　20m	20m



4 外部温度センサー

注記　外部温度センサーは、リモコンBOX-Ⅱ専用品です。熱風機に直接接続して使用することはできません。

1. 各部の名称

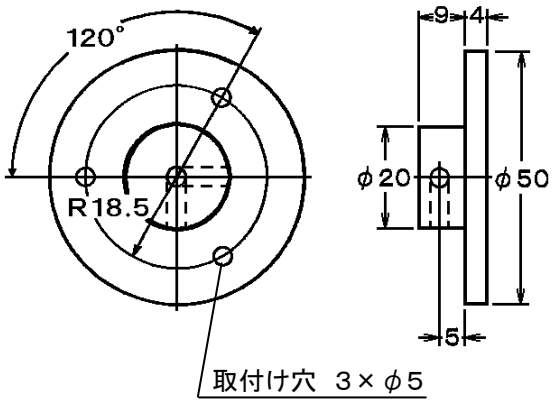


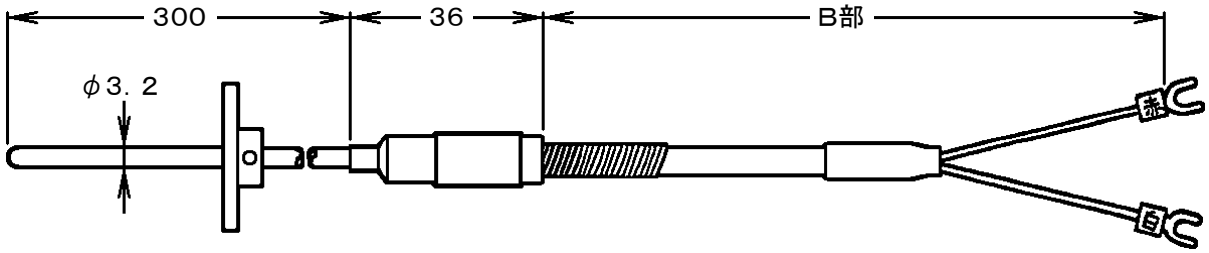
2. 各部の寸法

B部の寸法表

品　　番	B部長さ
外部温度センサー　5m　AT-305Y	5m
外部温度センサー10m　AT-310Y	10m
外部温度センサー15m　AT-315Y	15m
外部温度センサー20m　AT-320Y	20m

〔ルーズフランジ〕





5 接続

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

1. 必要なオプション機器

注記　リモコンコードは改造しないでください。
誤動作の原因になります。

① リモコンBOX-Ⅱ

② リモコンコード-F

③ 外部温度センサー

④ 電源ケーブル……規格：VCTF 1.25sq 3芯
リモコンBOX-Ⅱの電源接続用。必要な長さをご用意ください。

⑤ アラーム出力機器……パトランプ、ブザー、アラーム出力ケーブル、アラーム機器用電源ケーブルなど
必要に応じてご用意ください。

2. 接続のしかた

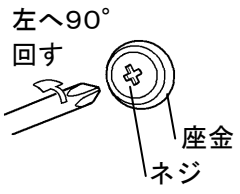
(1) リモコンBOX-Ⅱに各ケーブルを接続する。

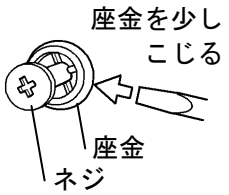
注記　①リモコンBOX-Ⅱには、基板を内蔵しています。破損しないよう、取扱いには充分ご注意ください。
②外部温度センサーのリード線は、⊕⊖極性を間違わないように確実に接続してください。
接続に不具合があると、ヒーターが作動しません。ご注意ください。
③リモコンBOX-Ⅱは、屋内用です。
風雨にさらされない屋内で、周囲温度0℃～40℃、湿度80%RH以下のところに設置してください。

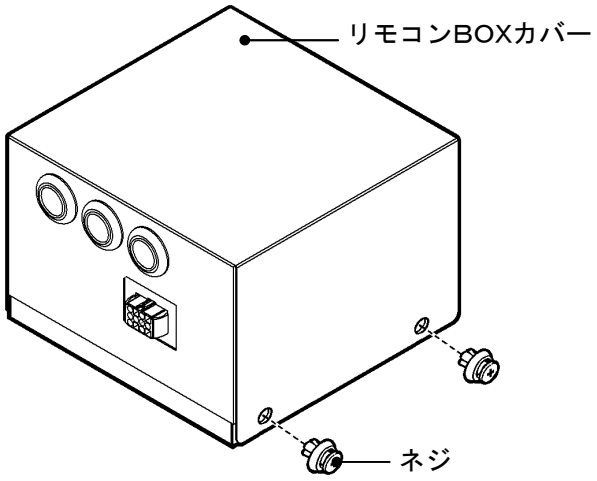
① リモコンBOX-Ⅱのカバーを外してください。

1）リモコンBOX-Ⅱ側面のネジ4か所に⊕ドライバーを差込み、左へ90°回すとゆるみます。

2）次に⊖ドライバーなどで座金を少しこじると、座金ごとネジが外れます。

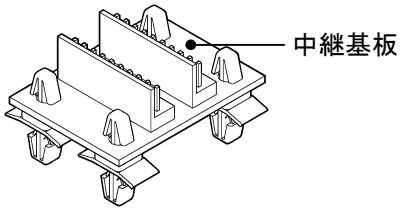






3）リモコンBOXカバーを取外します。

4）リモコンBOX-Ⅱ内の中継基板を取出します。
（中継基板の接続方法は8ページ）
※中継基板は袋詰して、リモコンBOX-Ⅱ内にテープ止めしています。

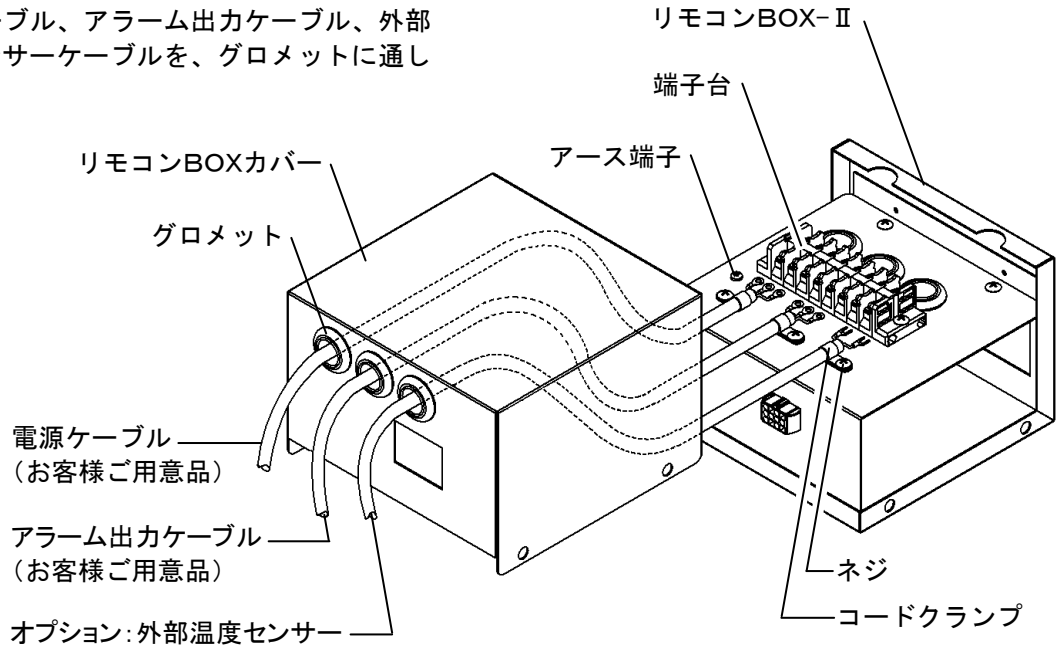


② リモコンBOXカバーのグロメットに、各ケーブルを通してください。

注記	①各ケーブルは、AC線、DC線の並走による誤作動を防ぐため、必ず1本ずつ別々のグロメットに通してください。 ②各ケーブルは、コードクランプで確実に固定してください。 ③電源ケーブルのアース線は、必ずアース端子に接続してください。

1）リモコンBOXカバーの後面に、各ケーブルを通すグロメットがあります。

2）電源ケーブル、アラーム出力ケーブル、外部温度センサーケーブルを、グロメットに通します。

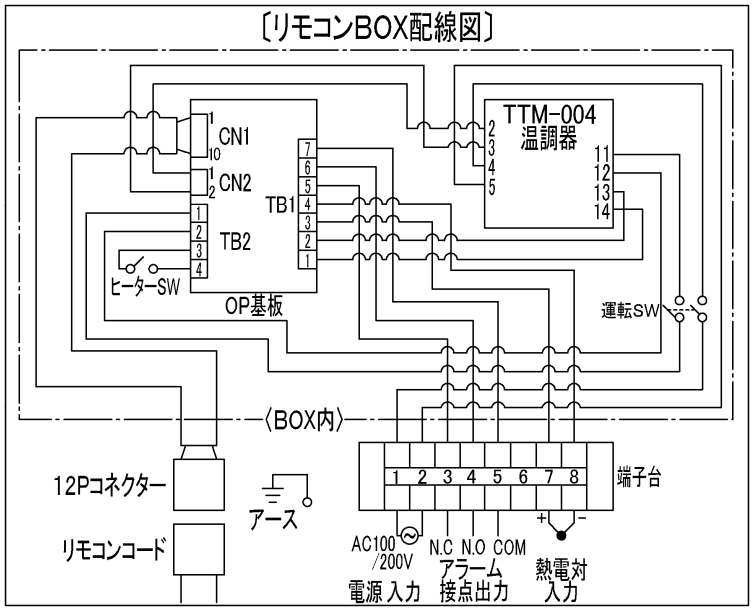


③ 各ケーブルを、リモコンBOXの端子に接続してください。
端子台への接続は、リモコンBOXカバー裏面の配線図か、本説明書の配線図を参考にしてください。

❖ 電源ケーブル
端子台の「１」「２」へ接続します。

❖ アラーム出力ケーブル
端子台の「３」「５」もしくは「４」「５」へ接続します。
異常感知の方法により、端子台ナンバーを選んでください。

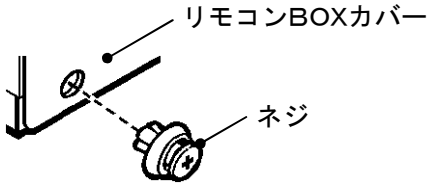
❖ 外部温度センサーケーブル
リード線（赤）⇒端子台の「７」㊉に接続してください。
リード線（白）⇒端子台の「８」㊀に接続してください。



④ リモコンBOXカバーを取付けてください。

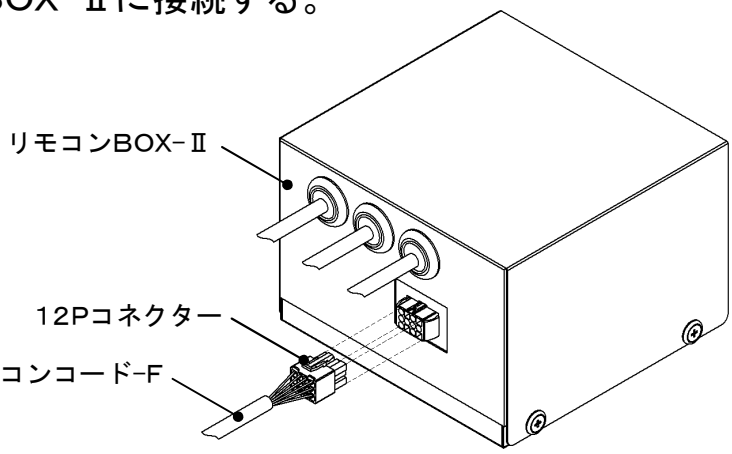
各ケーブルが指定の端子台に間違いなく接続されていることを確認した後、リモコンBOXカバーをかぶせ、ネジで固定します。

①で外した座金付きネジを取付け穴に合わせ、ネジの頭を押すと、取付けられます。



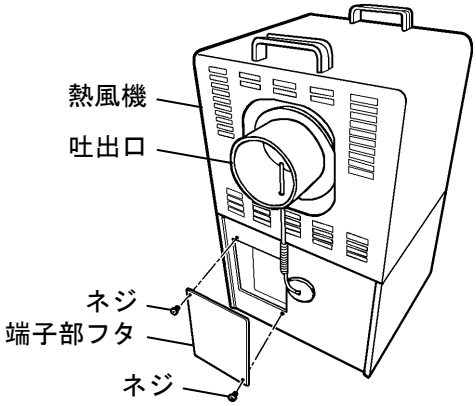
(2) リモコンコード-Fをリモコン BOX-Ⅱに接続する。

リモコンコード先端の12Pコネクターを、
リモコンBOX-Ⅱ後ろ側のコネクターに
接続してください。



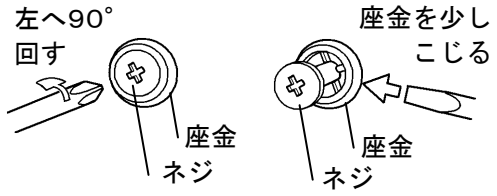
(3) 中継基板を熱風機に取付ける。

① 熱風機の端子部フタを外します。
熱風機吐出し口下側に、端子部があります。
端子部フタは、図のように2か所のネジで
止めています。

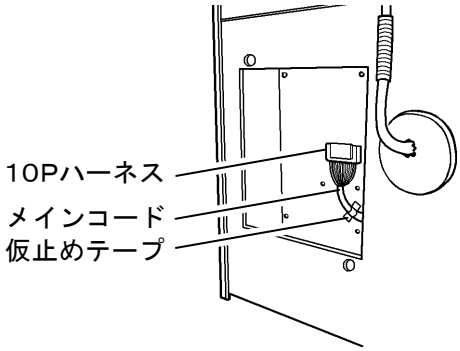


SHD-Fシリーズのネジの外し方

ネジに⊕ドライバーを差込み、左へ90°
回すと緩みます。
⊖ドライバーなどで座金を少しこじり、
座金ごとネジを外します。

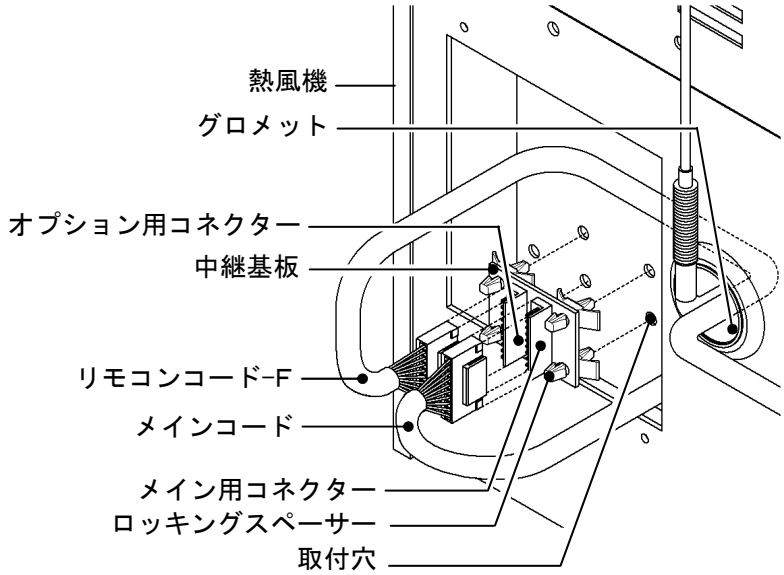


② 熱風機の10Pハーネス付きメインコードの
仮止めテープを外します。



③ 中継基板を熱風機内部に取付けます。
基板四隅のロッキングスペーサーを
取付穴に合わせ、カチンと音がする
まで押込みます。
メインコードを挟まないようにご注
意ください。

④ 中継基板のメイン用コネクターに、
メインコード先端の10Pハーネスを
差込んでください。



(4) リモコンコード-Fを熱風機に接続する。

① リモコンコード-Fを、熱風機のグロメットに通して熱風機内に引き込んでください。

② 中継基板のオプション用コネクターに、リモコンコード先端の10Pハーネスを差込んでください。

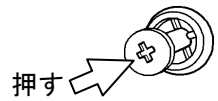
③ 各コードが指定のコネクターに間違いなく差込まれていることを確認してください。

④ 端子部フタを取付けてください。
(3)－①で外したネジをご使用ください。

熱風機SHD-Fシリーズは、座金付きネジを取付け穴に合わせ、ネジの頭を押すと、取付けられます。

SHD-Fシリーズのネジの締め方

ネジを座金ごと取付け穴に合わせて、ネジの頭を押すと取付けられます。

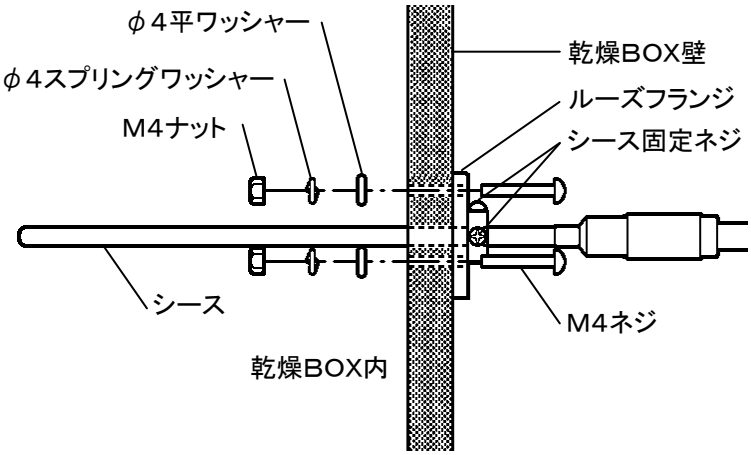


(5) 外部温度センサーを乾燥BOXなどに組付ける。

① 乾燥BOXの壁に、シースの挿入口とルーズフランジの取付け穴を開けてください。
(5ページ「各部の寸法」参照)

② ルーズフランジを、乾燥BOXの壁に取付けます。
固定用のネジ・ナット類は付属品ではありませんので、乾燥BOXなどの壁の厚みに合ったM4ネジ、φ4平ワッシャー、φ4スプリングワッシャー、M4ナットを用意してください。

③ 外部温度センサーのシースをルーズフランジに挿入し、付属のネジ2個でシースを固定します。
ネジを締め過ぎると、シース破損の原因になりますのでご注意ください。



(6) リモコンBOX-Ⅱの電源ケーブルを電源に接続する。

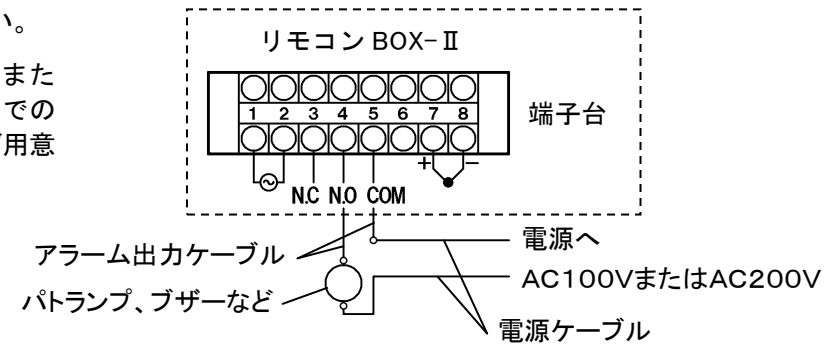
リモコンBOX-Ⅱの電源ケーブルをAC100V電源またはAC200V電源に接続してください。

(7) リモコンBOX-Ⅱにアラーム出力機器を接続する。

リモコンBOX－Ⅱに接続したアラーム出力ケーブルに、パトランプ、ブザーなどのアラーム出力機器を接続してください。

接続方法は、右図を参考にしてください。

電源ケーブルは、VCTF-1.25sq 2芯または3芯で、リモコンBOX-Ⅱから電源までの距離に応じた長さのものを、お客様でご用意ください。

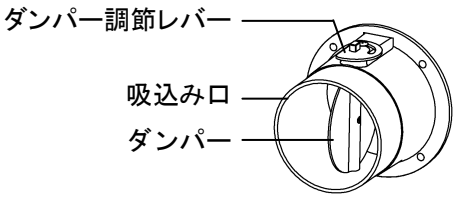


6 操作

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

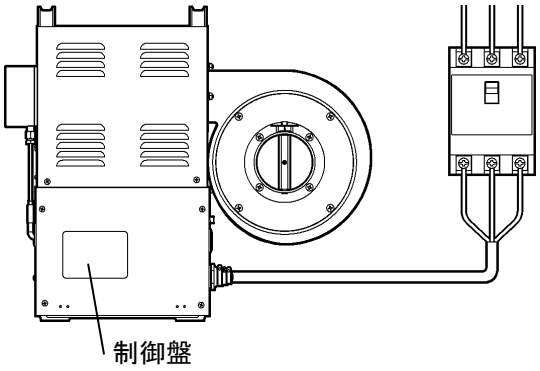
注記 リモコンBOX-Ⅱを接続すると、熱風機本体での操作はできなくなります。
電源の入・切、ヒーターの入・切、温度設定は、リモコンBOX-Ⅱで操作してください。

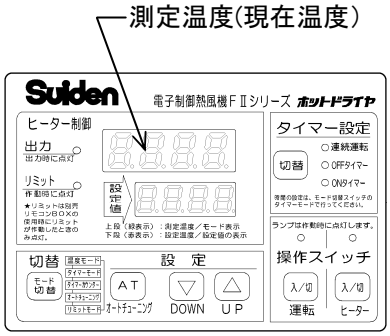
(1) 熱風機の起動



① 吸込み口のダンパーを全開にしてください。

② 熱風機の工場電源(ブレーカーなど)を投入してください。
電源が本機に投入されると、制御盤に現在温度が表示されます。





(2) リモコンBOX-Ⅱを操作します

① 詳しい操作の方法は、13～19ページ

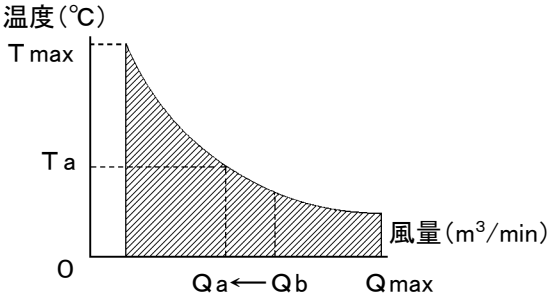
② 設定温度に到達しないときは、ヒーター出力ランプが点灯し続けます。
熱風機のダンパーで風量を調節してください。

(3) 温度調節と風量調節

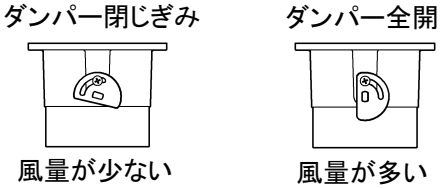
注記
①熱風機のヒーターリミットが作動したとき、リモコンBOX-Ⅱのヒーター出力ランプが点灯していてもヒーターには通電されません。
②ダンパーを閉じると、吐出風量が少なくなります。
③ダンパーを完全に閉めた状態で、運転しないでください。
④ダンパー中央穴をふさいだ状態で、運転しないでください。

吐出温度と吐出風量は、特性曲線に従って変化します。
リモコンBOX-Ⅱの操作だけで設定温度が得られないときは、熱風機吸込み口のダンパーを徐々に閉めていき、風量をしぼって、設定温度になるように調節してください。
熱風機で制御できる温度と風量は、図の斜線で示す範囲です。
Tmax(最高温度)とQmax(最大風量)は、熱風機の取扱説明書「仕様」の項をご参照ください。

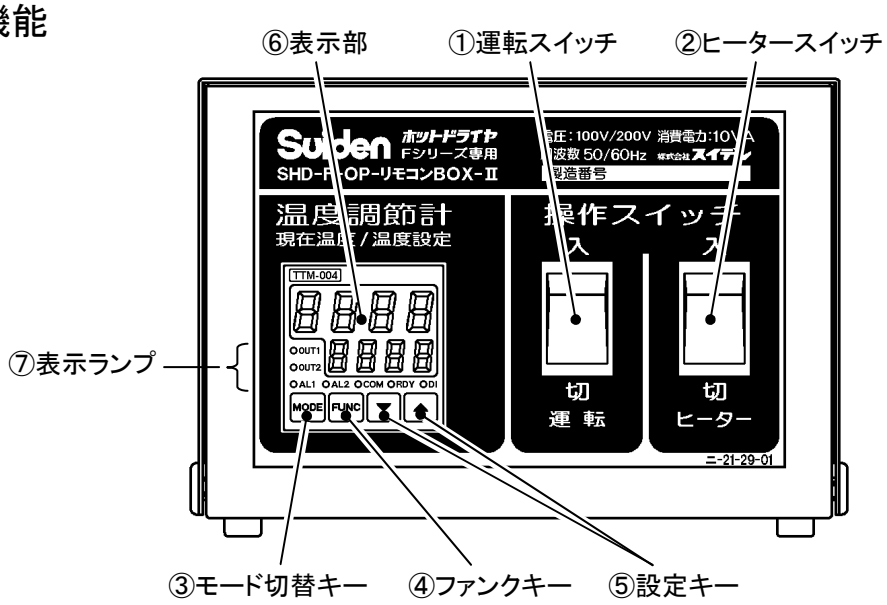
風量ー温度特性曲線



(例) 設定温度を図〈Ta〉にしたい場合
〈Qb〉の風量を吐出していると、設定温度の熱風が得られない。
ダンパーを徐々に閉じていき、設定温度になる〈Qa〉まで風量を減らしていく。



(4) 各部の機能



① 運転スイッチ

入	切
● 熱風機のブロアーが回転します。 ● 熱風機の運転ランプ(緑)が点灯します。 ● 温度調節計が点灯します。	● 熱風機の運転を停止します。 ● 各ランプが消灯します。 ● 温度調節計が消灯します。 ● 熱風機のブロアーは運転停止から約3分間自動送風した後、停止します。

② ヒータースイッチ

入	切
熱風機が運転中で、熱風機のヒーターランプ(赤)が点灯していないとき、このスイッチを入れると、ヒーターに通電できる状態になります。 ● 熱風機のヒーターランプ(赤)が点灯します。	熱風機のヒーターランプ(赤)が点灯しているとき、このスイッチを切ると、ヒーターへの通電を遮断します。 ● 熱風機のヒーターランプ(赤)が消灯します。

1）吐出し温度が設定温度より高い場合や、温度調節器の制御領域内では、リモコンBOX-ⅡのOUT1ランプが点灯中でも、ヒーターに通電していないときがあります。
熱風機本体の出力ランプが点灯していないときは、ヒーターには通電していません。

2）ヒータースイッチを常時「入」にしておくと、運転スイッチの「入」「切」と同時にヒーターへの通電を行うことができます。

3）ヒータースイッチのみで熱風機の「入」「切」動作はできません。

③ モード切替キー

MODE　画面を切替えます。
「オートチューニングモード」と「タイマーモード」を使用するとき切替えます。

④ ファンクキー

FUNC　オートチューニング時に実行し、タイマー残時間モニターを表示している場合のみ、タイマーを実行します。

⑤ 設定キー

設定値を増減(変更)させるときに使用します。
タイマーモードでは時間設定をすることができます。
各モードでは、設定値を変更するとき使用します。(押し続けると早く増減します)

▼ ……ダウンキー

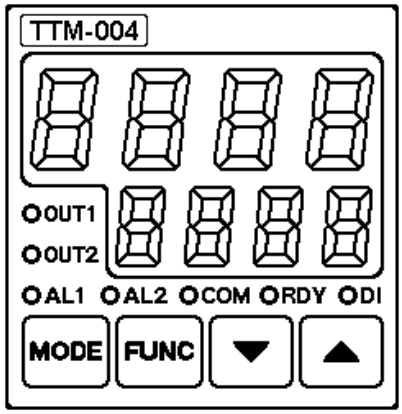
▲ ……アップキー

⑥ 表示部

通常、上段に「現在温度」を表示し、下段に「設定温度」を表示します。
各モード使用時には、上段に「キャラクター」を表示し、下段には「選択入力値」を表示します。

⑦ ランプ類

名称	点滅・点灯の意味
OUT1	ヒーター出力時に点滅または点灯します。
OUT2	点滅・点灯しません。
AL1	アラーム出力時に点滅または点灯します。
AL2	点滅・点灯しません。
COM	点滅・点灯しません。
RDY	点滅・点灯しません。
DI	点滅・点灯しません。



⑧ オートチューニング (操作方法は13～14ページ)

1）設定温度で安定しない場合などに、オートチューニングを行うことでP．I．D.の定数を使用環境に適した値に変更します。

2）設定温度に対して適した定数に変更するので、設定温度を変更したときは、再度オートチューニングをしてください。

(例) 設定温度を　50℃→100℃に変更するとき

①50℃にてオートチューニング起動
②設定温度を100℃に変更
③100℃にてオートチューニング起動　→　100℃に適したP．I．D.の定数に変更されます。

⑨ タイマー (操作方法は15～19ページ)

1）タイマーモードで、ONタイマー、または、OFFタイマーを使用することができます。

2）設定時間は、0秒～99分59秒、または、0分～99時間59分の範囲で設定できます。

ONタイマー…… 運転スイッチを入れると、設定時間経過後に熱風機が運転を開始します。

OFFタイマー … 運転スイッチを入れると、設定時間経過後に熱風機が運転を停止します。
※運転停止後、ヒーター保護のため約3分間自動送風後、停止します。

3）タイマー設定後に、停電などで一時的にリモコンBOX-Ⅱの電源が遮断された場合は、設定時間にズレが生じますので、タイマー設定を最初からやり直してください。

(5) リモコンBOX-Ⅱの操作

① リモコンBOX-Ⅱ用元電源(ブレーカーなど)を投入してください。

② ヒータースイッチが「切」になっていることを確認してから、運転スイッチを入れます。

1）熱風機の運転ランプ(緑)が点灯し、ブロアーが回転します。

2）熱風機の吐出口からの送風を確認します。

3）外部温度センサーが感知している温度が、リモコンBOX-Ⅱ表示部上段に表示されます。

③ 設定キーを操作して、希望温度に設定します。

④ ヒータースイッチを入れます。

1）熱風機のヒーターランプ(赤)が点灯します。

2）ヒーター出力時には、熱風機の出力ランプ(赤)とリモコンBOX-ⅡのOUT1ランプが同期し、点滅または点灯します。
ヒータースイッチを常時「入」にしておくと、運転スイッチの入・切と同時にヒーター入・切を行うことができます。

注記
①ヒーターランプ(赤)は、ヒータースイッチの入・切の状態を示しています。
②出力ランプ(赤)は、制御信号を出力しているとき点灯し、設定温度付近では点滅します。
③熱風機のヒーターリミットが作動したとき、リモコンBOX-Ⅱのヒーター出力ランプが点灯していてもヒーターには通電されません。
④ヒーターリミットは、ヒーターの異常過熱を防止するため、熱風機の吐出口からの熱風温度が350℃を超えると作動します。

⑤ 設定温度に到達しないときは、ヒーター出力ランプが点灯し続けます。
熱風機のダンパーで風量を調節してください。

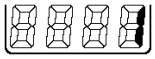
(6) オートチューニングの操作

注記 設定温度を変更した場合は、再度オートチューニングを起動することをお勧めします。
オートチューニングを行った値は、電源をOFFにしても記憶しています。

① 最初に前項「リモコンBOX-Ⅱの操作」を行ってください。

② 希望の温度に設定したことを確認してください。

③ MODE キーを押し、 を表示させます。

④ 設定キー▲ ▼で、下段表示を  に設定します。

注記
①設定キー▲ ▼で、下段表示を「1」か「2」に変更できますが、「1」以外には設定しないでください。
②下段表示を「2」に設定すると、セルフチューニングが起動します。
「2」に設定しても特に問題はありませんが、設定温度に対し表示温度の誤差が生じる場合があります。

⑤ FUNC キーを押すと、オートチューニングが起動します。

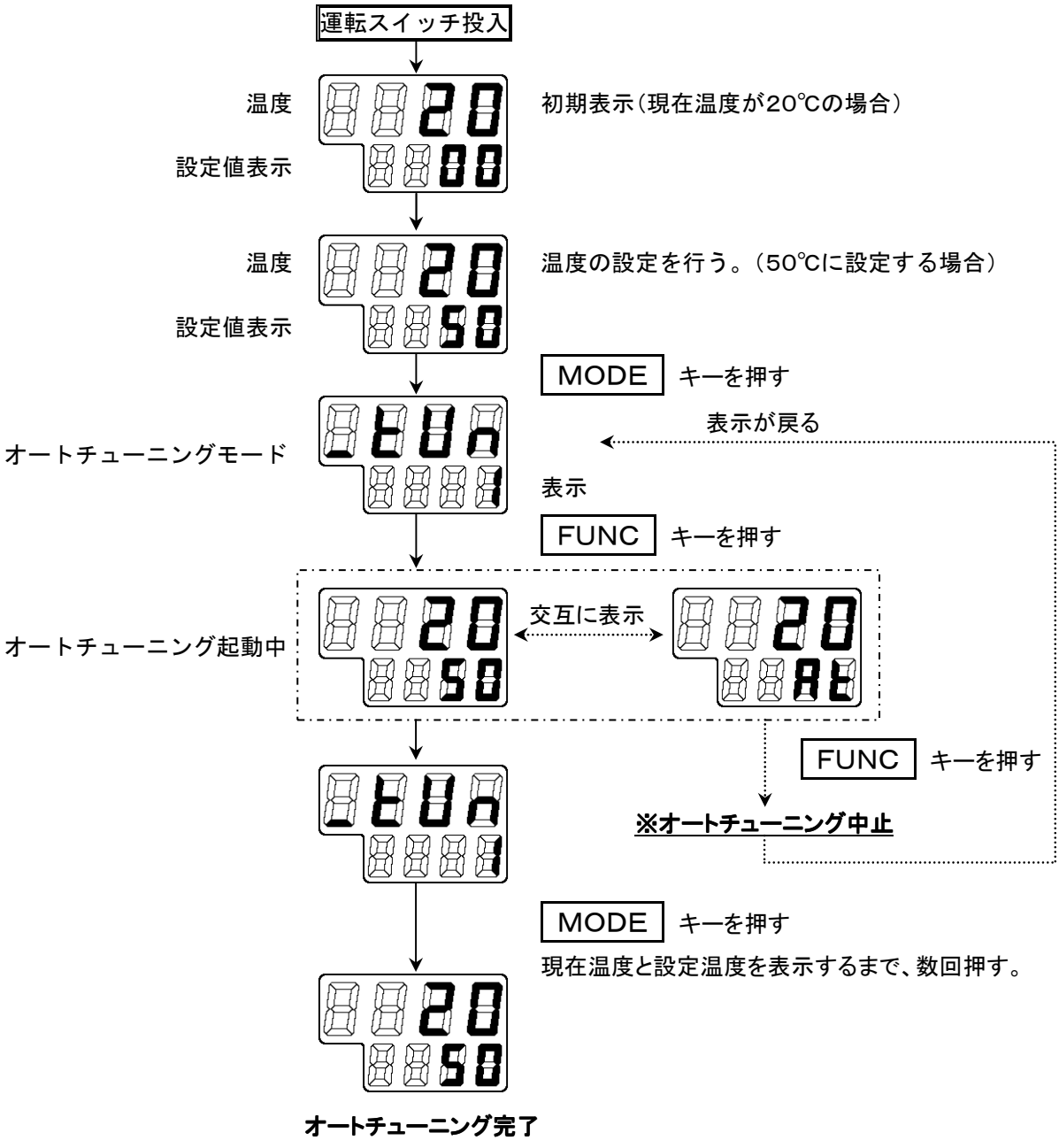
1）オートチューニング起動中は、表示部下段に「設定温度値」と 表示が交互に表示されます。
※内部設定の変更を行いますので、オートチューニング完了まで、多少時間がかかります。

2）オートチューニング完了後、 が表示されるので、MODE キーを数回押してください。
「現在温度値／設定温度値」が表示されると、オートチューニング操作が完了となります。

3）オートチューニングを中止したい場合は、オートチューニング起動中に再度 FUNC キーを押すとキャンセルされます。

4）オートチューニングを中止した後、温度を設定しなおす場合は、一旦運転スイッチを「切」にしてから、②の操作からやり直してください。

〔 オートチューニング操作フロー 〕



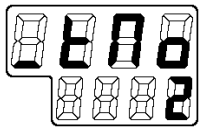
(7) タイマー運転の操作

【ONタイマーで使用する場合】

注記 **①ヒータースイッチは「切」の状態で設定してください。**
②熱風機の停止は手動で行ってください。
③運転スイッチを「切」にするとタイマー運転は中止され、タイマー時間はリセットされます。
④運転スイッチを「切」にするとヒーター保護用のタイマーがスタートするため、3分間自動送風を行います。

① 運転スイッチを「入」にする。

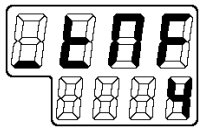
② MODE キーを押し、 を表示させます。



③ 設定キー▲ ▼で、下段表示を に設定します。

注記 ①「０」「２」以外には設定しないでください。
②「０」は　タイマー運転解除の操作　の項を参照ください。（19ページ）
③「１」に設定して使用した場合、タイマー時間後ヒーターの出力はONしますが、ブロアーは常に運転しています。

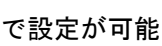
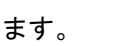
④ MODE キーを押し、 を表示させます。

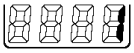


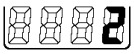
⑤ 設定キー▲ ▼で、下段表示を に設定します。

注記 ①設定キー▲ ▼を押すと「1～7」が表示しますが、「1」「4」以外には設定しないでください。
②「1」は【OFFタイマーで使用する場合】を参照ください。（17～18ページ）
③「1」「4」以外に設定した場合、運転スイッチを「入」にしてもタイマーは動作しません。

⑥ MODE キーを押し、 を表示させます。

⑦ 時間の単位を設定します。設定キー▲ ▼で下段表示を  または  に設定します。

1）  を選択した場合、「0分～99時間59分」の範囲で設定が可能になります。

2）  を選択した場合、「0秒～99分59秒」の範囲で設定が可能になります。

⑧ MODE キーを押し、 を表示させます。

⑨ 設定キー▲ ▼で、タイマー時間を設定します。

⑩ タイマー設定を完了してください。
タイマー時間を設定したら、運転スイッチを「切」に戻してください。

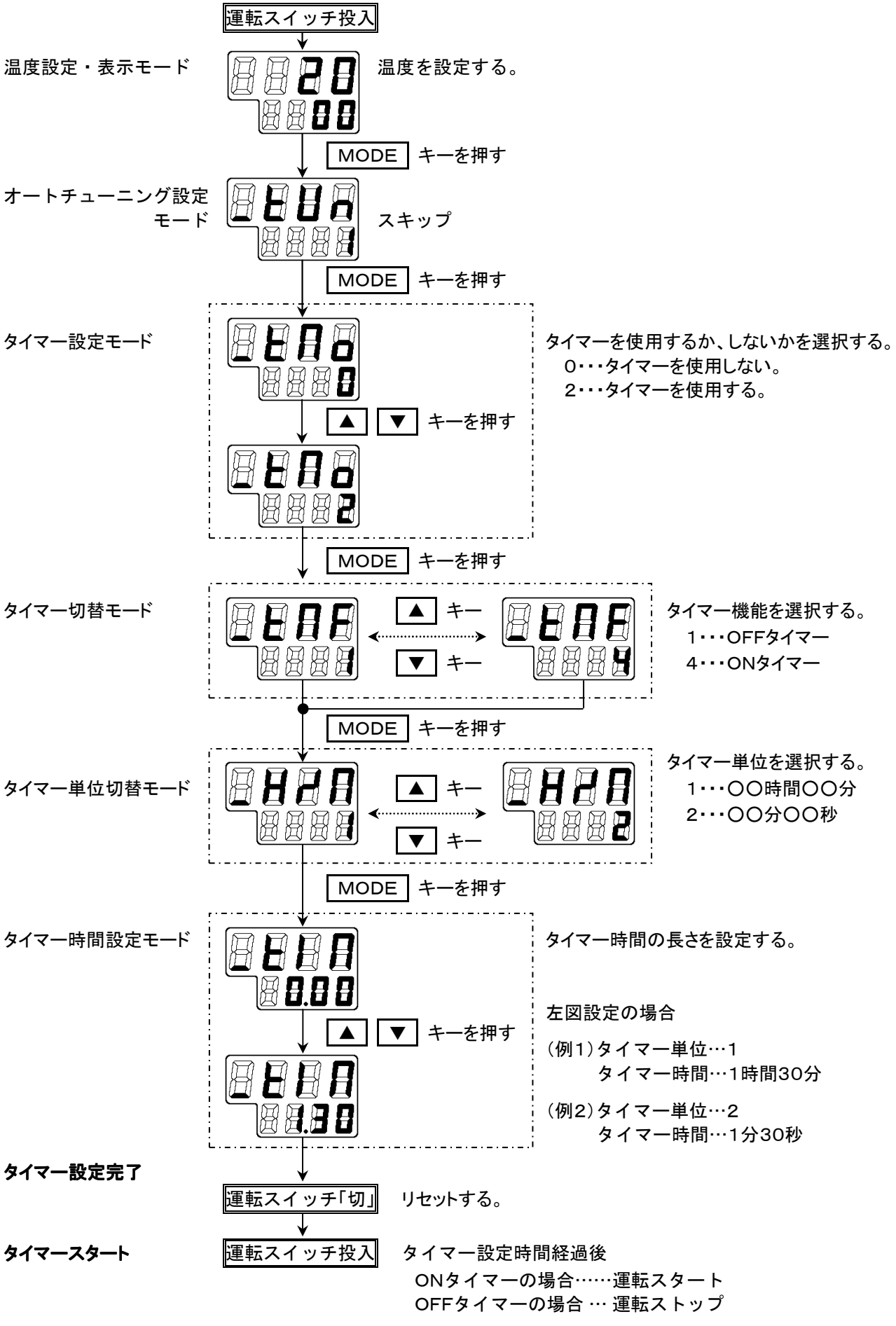
⑪ ヒータースイッチを「入」にする。
ヒータースイッチを常時「入」にしておくと、運転スイッチの「入」「切」と同時にヒーターの「入」「切」を行うことが出来ます。

⑫ 運転スイッチを「入」にする。
1） タイマー運転がスタートし、設定時間経過後、熱風機が運転を開始します。
2） タイマー動作中にはAL1ランプが点滅し、タイマー時間終了後、AL1ランプは消灯します。

⑬ MODE キーを押し、 表示にすると、タイマー残時間を確認することができます。

⑭ 次回、再スタートの際は、下記のうちどちらかを選択してください。
1） ⑩からの操作を繰り返す。⑩運転スイッチ「切」→⑪ヒータースイッチ「入」→⑫運転スイッチ「入」
2） MODE キーを押し、 を表示させて、FUNC キーを押すと、ONタイマーがセットされます。

〔 タイマー運転操作フロー 〕

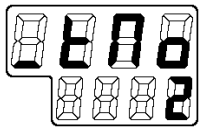


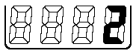
【OFFタイマーで使用する場合】

注記 **①ヒータースイッチは「切」の状態で設定してください。**
②手順④でタイマー切替モードを「1」に設定した時点でOFFタイマーを認識してしまうため、熱風機は動作しますが、時間設定後に運転スイッチを再投入するとOFFタイマーとして使用できます。
③タイマー時間を経過すると、ヒーター保護用のタイマーがスタートするため、3分間自動送風を行います。

① 運転スイッチを「入」にする。

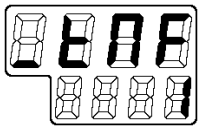
② MODE キーを押し、 を表示させます。

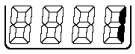


③ 設定キー▲ ▼で、下段表示を  に設定します。

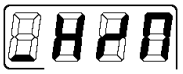
注記 ①「０」「２」以外には設定しないでください。
②「０」は　タイマー運転解除の操作　の項を参照ください。（19ページ）
③「１」に設定して使用した場合、タイマー時間後ヒーターの出力はONしますが、ブロアーは常に運転しています。

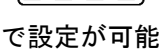
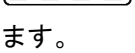
④ MODE キーを押し、 を表示させます。

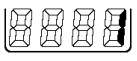


⑤ 設定キー▲ ▼で、下段表示を  に設定します。

注記 ①設定キー▲ ▼を押すと「1～7」が表示しますが、「1」「4」以外には設定しないでください。
②「1」は【OFFタイマーで使用する場合】を参照ください。（15～16ページ）
③「1」「4」以外に設定した場合、運転スイッチを「入」にしてもタイマーは動作しません。

⑥ MODE キーを押し、  を表示させます。

⑦ 時間の単位を設定します。設定キー▲ ▼で下段表示を  または  に設定します。

1）  を選択した場合、「0分～99時間59分」の範囲で設定が可能になります。

2） を選択した場合、「0秒～99分59秒」の範囲で設定が可能になります。

⑧ MODE キーを押し、 を表示させます。

⑨ 設定キー▲ ▼で、タイマー時間を設定します。

⑩ タイマー設定を完了してください。
タイマー時間を設定したら、運転スイッチを「切」に戻してください。

⑪ ヒータースイッチを「入」にする。

⑫ 運転スイッチを「入」にする。

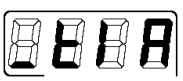
1） タイマー運転がスタートし、設定時間経過後、熱風機が運転を停止します。

2） タイマー動作中にはAL1ランプが点滅し、タイマー時間終了後、AL1ランプは点灯します。

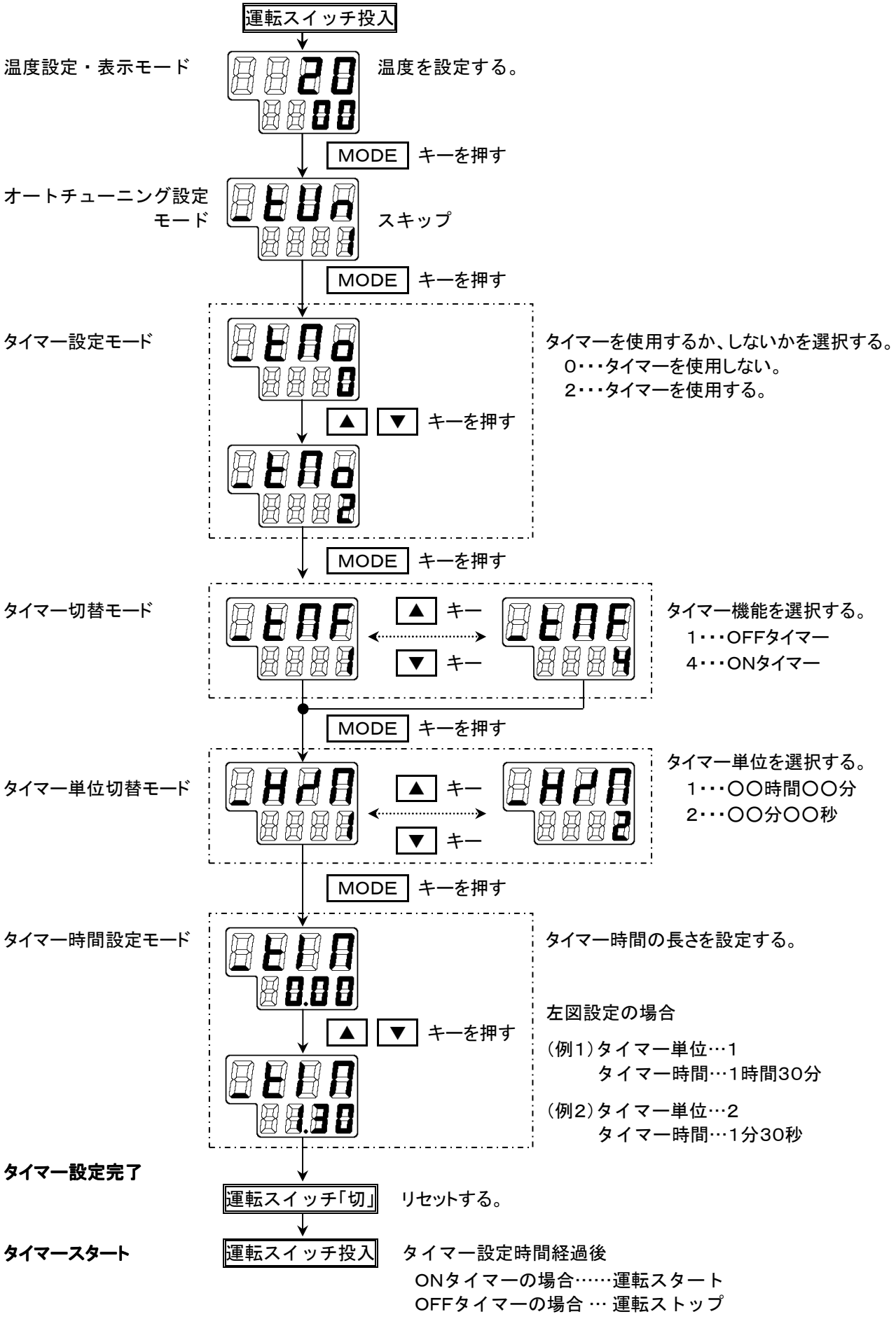
⑬ MODE キーを押し、 表示にすると、タイマー残時間を確認することができます。

⑭ 次回、再スタートの際は、下記のうちどちらかを選択してください。

1） ⑩からの操作を繰り返す。⑩運転スイッチ「切」→⑪ヒータースイッチ「入」→⑫運転スイッチ「入」

2） MODE キーを押し、  を表示させて、FUNC キーを押すと、OFFタイマーがセットされます。

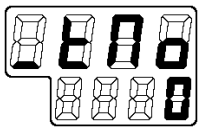
〔 タイマー運転操作フロー 〕

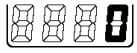


(8) タイマー運転解除の操作

① 運転スイッチを「入」にする。

② MODE キーを押し、 を表示させます。



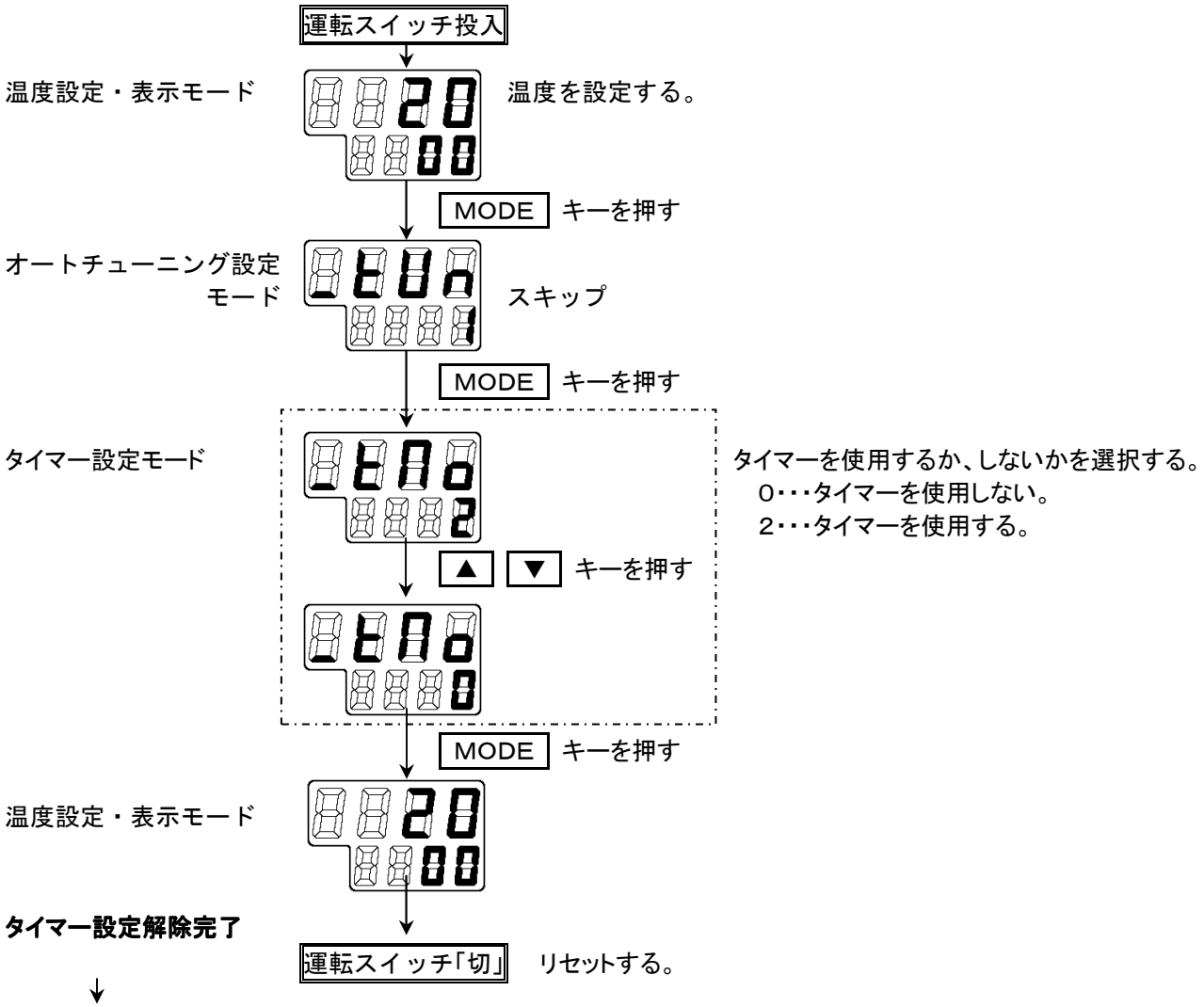
③ 設定キー ▲ ▼ で、下段表示を  に設定します。

注記	①「0」「2」以外には設定しないでください。 ②「2」は タイマー運転の操作 の項を参照ください。(15～18ページ)

④ 運転スイッチを「切」にしてください。

⑤ 運転スイッチを「入」にすると、通常運転がスタートします。

〔 タイマー運転解除　操作フロー 〕



7 こんなときは（故障かな？と思ったら）

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

ご 確 認 く だ さ い		
症　状	調 べ る と こ ろ	直　し　方
運転スイッチを入れても何も表示しない。（運転しない）	元電源が入っていますか？	元電源を入れてください。
	制御回路のヒューズが切れていませんか？	原因を取除いた後、ヒューズを交換してください。（熱風機の取扱説明書を参照）
OUT1ランプが点灯しない	温度設定が雰囲気温度以下になっていませんか？	温度設定を雰囲気温度以上にしてください。
吐出熱風温度が低い	温度設定をしていますか？	希望温度を設定してください。

上記処置をしても直らない場合は使用を中止し、販売店またはスイデンサービスショップ、スイデンお客様相談室へご相談ください。

8 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

安全確保のため、下記の点検項目に従って、定期的に保守点検を行ってください。
もし、点検で不具合が見つかったときは、速やかに処置を施してください。

点検項目	処　　置
リモコンコード-Fは、傷んだり変形していませんか？	リモコンコード-Fを交換してください。
外部温度センサーのリード線は、傷んだり変形していませんか？	外部温度センサーを交換してください。
アラーム出力ケーブルは、傷んだり変形していませんか？	出力ケーブルを交換してください。
電源ケーブルは、傷んだり変形していませんか？	電源ケーブルを交換してください。
各ケーブルの接続部は、確実に接続されていますか？	増し締めしてください。
各コネクターの接続部にガタなどはありませんか？	差込み直してください。
リモコンBOX-Ⅱの取付けにガタなどはありませんか？	しっかりと取付けてください。
各スイッチは、正しく機能していますか？	前項「こんなときは」を参考に調べていただき、直らない場合は、販売店またはスイデンお客様相談室に点検・修理をご依頼ください。
異臭はありませんか？	販売店またはスイデンお客様相談室に点検・修理をご依頼ください。

9 アフターサービスと保証について

⚠ 注　意
当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。 ＊当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。 ＊当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。 ＊他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

●修理について

リモコンBOX-Ⅱ

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い求めの販売店、または当社お客様相談室にお申し付けください。
なお、標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後6年です。

リモコンコード-F、外部温度センサー

リモコンコード-F、外部温度センサーは、部分修理ができません。
不具合が生じたときは、新しいリモコンコード-F、外部温度センサーを購入してください。

●保証について

本機は、日本国内専用品です。他国で使用された場合や、改造など本機に手を加えられた場合は、アフターサービス、その他製造者としての責任は負いかねます。
この製品の保証期間は納入日より1年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証	取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。 ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。 また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

MEMO

⚠ 安全に関するご注意

●本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
●本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

愛情点検

★長年ご使用の熱風機の点検を！

このような症状はありませんか？	●スイッチを入れても時々運転しないことがある。 ●運転中に異常な音や振動がある。 ●本体が変形していたり、異常に熱い。 ●焦げ臭い“におい”がする。 ●その他の異常がある。	▶ **お願い 異常があればご使用を即、中止!!**	このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

アフターサービスのお申し込みについて

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へお申し込みください。

●お買い上げ販売店のメモ欄

店　名	お買い上げ年月日 年　月　日
所在地	TEL
	FAX

≪製品の廃棄について≫　本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。

スイデン商品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へどうぞ！

お客様相談室　フリーダイヤル 0120-285-240
Eメールでのお問い合わせは　info@suiden.com
株式会社スイデン　大阪市天王寺区逢阪2-4-24　ホームページ http://www.suiden.com